

学習指導案の形式（例） 中学校特別活動

学級活動（１）「学級や学校の生活づくり」

第○学年○組 学級活動指導案

平成○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

- 1 題材 「○○○○○○○○」
内容（□）○○○○○○○○

◇題材名を示し、内容〔共通事項〕を付記する。

- 2 題材について
（１）生徒の実態

◇学級での生徒の生活の実態や、これまでの学級での取り組みなどを記述する。
◇各学校で定めた評価規準を踏まえた、話し合い活動における課題や目指す方向などを記述する。

- （２）題材設定の理由

◇取り上げる題材の内容、今までに取り組んできたこととの関連、その題材を取り上げる意義、題材と生徒との関係などを記述する。

- 3 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
例：～集団活動に取り組もうと している。	例：～について考え、判断し、 ～実践している。	例：～について理解している。
◇評価規準の設定に当たっては、『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校 特別活動】』（平成23年11月 国立教育政策研究所）などを参考にして、適切に設定することが望ましい。		

- 4 事前の活動

日時	生徒の活動	教師の指導・支援	学習評価
○月 ○日（○）	◇生徒の立場で簡潔に書く。	◇指導者の立場で書く。 準備物や具体的な手だてを記入する。	◇事前・本時・事後の活動の中で、どのように評価規準が位置付けられているかが分かるように書く。
○月 ○日（○）			

5 本時の指導と生徒の活動
 (1) 課題 「○○○○○○○○」

◇生徒によって設定された議題を記入する。
 ※文末表記の例「～を考えよう」など

(2) 本時のねらい

◇生徒の立場で書く。
 ※文末表現の例「～をすることができる」「～について理解することができる」など

(3) 本時の展開

話し合いの順序	教師の指導・支援	学習評価
1	○	
2	○	
<p>◇具体的に書く。 例えば 「開会の言葉」 「議題の発表・確認」 「提案理由の説明」 「話し合い」 「決定事項の確認」 「話し合いの振り返り」 「教師の話」 「閉会の言葉」 など、話し合いの順序が分かるように記入する。</p>	<p>◇話し合いの活動に沿って、指導・支援の意図、重点、工夫、手だてなどについて留意すべきことを具体的に書く。 ◇話し合いの活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。 ◇「○○する生徒に対しては、□□を△△することで◇◇を促す」など、具体的な指導・支援が分かるように書く。 ※文末表現の例 ～雰囲気をつくる。 ～するように助言する。 ～の場を設定する。 ～を賞賛する。 ～意欲を高める。 など</p> <p>◇指導者の立場で書く。</p>	<p>◇評価規準を基にして、学級の実態を考慮しながら、「十分満足できる活動の状況」を具体的に書く。 ◇本時は「思考・判断」に重点を置き、事後指導で「実践」に重点を置いて評価することも考えられる。 ◇評価の観点や方法を書く。</p> <p>○例：～している。 [評価の観点] (評価の方法)</p> <p>◇評価方法の例 ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノートの記述 ・ワークシートの記述等</p>

6 事後の活動

日時	生徒の活動	教師の指導・支援	学習評価
○月 ○日(○)	◇生徒の立場で簡潔に書く。	◇指導者の立場で書く。 準備物や具体的な手だてを記入する。	◇事前・本時・事後の活動の中で、どのように評価規準が位置付けられているかが分かるように書く。
○月 ○日(○)			